

(様式2)

令和4年度佐賀大学研究者国際交流支援事業報告書

令和4年11月20日

国際交流推進センター長 殿

事業責任者(申請者)

所属 理工学部

職名 准教授

氏名 後藤隆太郎

下記のとおり令和4年度佐賀大学研究者国際交流支援事業の実施結果について報告します。

1.国際研究集会名	I S H I K 2022		
2.事業責任者 (申請者)	後藤隆太郎	3.所属・職名	理工学部・准教授
4.開催期間	令和4年10月22日～令和4年10月23日		
5.申請区分	A) 学術交流協定(大学名)	B) 共同研究	C) 一般
6.参加者数 ※参加者名簿(別添) を添付	参加者数 63名 内、 <u>外国人</u> 数 35名、 <u>研究者</u> 数 52名、 <u>学部学生</u> 数 1名、 <u>修士以上学生</u> 数 10名		
7.招待講師	所属 ① 清華大学(Tsinghua University) 職名 教授 氏名 高瑄(Xuan GAO)		
8.支出額	金額 200,000 円 【内訳】 謝金 130,000 円 旅費 0 円 消耗品費 70,000 円		
9.国際研究集会の内容	ISHIK 2022(The 11th International Symposium on History of Indigenous Knowledge)は、今回オンライン参加(一部対面)の国際シンポジウムとして、日中それぞれから基調講演(計2件)、加えて計27件の研究発表(中国11件,日本16件)、計29件の講演発表が行われた。 スケジュール * 中国時間表示(日本時間; + 1時間) 22 October (Saturday) 9:00～ 9:30 Opening Ceremony 9:30～10:50 Plenary Talk (PT-1,2)		

11:00～11:40 Presentation I (PR-1,2)
13:30～14:50 Presentation II (PR-3,4,5,6)
15:00～16:20 Presentation III (PR-7,8,9,10)
16:20～17:00 Presentation IV (PR-11,12)
23 October (Sunday)
9:00～10:20 Presentation V (PR-13,14,15,16)
10:30～11:50 Presentation VI (PR-17,18,19,20)
13:30～14:00 General Meeting
14:00～15:20 Presentation VII (PR-21,22,23,24)
15:30～16:30 Presentation VIII (PR-25,26,27)
16:30～17:00 Close Ceremony

10.事業実施による成果・今後の事業の発展等

○今回で11回目を迎え、これまで日本側(佐賀大学を中心とし、福岡大学他、複数大学の研究者等)と中国側(中国社科院世界経済与政治研究所はじめ多数の大学研究者)が、両国で交互に開催しており、主として「科学技術と経済社会の発展に向けた在来知歴史学的研究」をテーマとし、日本と中国等近隣諸国との研究交流活動の積み重ねの上に今回も実施できた。コロナ禍の影響でハイブリット形式にて、日本側は佐賀大学にサテライト会場を設けて開催された。

○参加者は、日中両国の研究発表者(52名)に加え、一部佐賀大学学生および中国人留学生(計 11 名)の若手人材が参加した。

○次年度(ISHIK 2023)について、電気通信大学(東京)を会場として実施することが決定し、次年度にむけた取り組みの継続性も担保された。

○それらを踏まえ佐賀大教員を代表ならびにメンバーとする外部資金獲得に向けた研究企画の検討を開始した。

※欄内に収まらない場合、適宜、行を追加し、ページを増やしていただいても構いません。